



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.17

2016.11.9 (No.2890)

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
 会長／川瀬康裕
 会長エレクト／小出子恵出 (クラブ奉仕A)
 副会長／松永一義 (クラブ奉仕B)
 幹事／関川博
 S A A／明田川賢一
 会計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:55名中37名
- 先々週出席率:81.13%

【先週のメイクアップ】

- [11.2] 新潟南RCへ
・ 渋谷健一さん
- [11.4] 三條ローターアクトへ
・ 吉井直樹さん
- [11.5] クラブ会長会(長岡)へ
・ 川瀬康裕さん
- [11.5～6] 地区大会(長岡)へ
・ 川瀬康裕さん、関川博さん、
・ 吉井直樹さん、明田川賢一さん、
・ 五十嵐昭一さん、五十嵐晋三さん、
・ 五十嵐博宣さん、石橋育於さん、
・ 江部卓城さん、荻根澤隆雄さん、
・ 小越憲泰さん、歸山肇さん、
・ 加藤紋次郎さん、小出子恵出さん、
・ 小林敬典さん、近藤雄介さん、
・ 斎藤弘文さん、佐野勝榮さん、
・ 渋谷健一さん、高橋司さん、
・ 中條克俊さん、中村和彦さん、
・ 丸山行彦さん、若槻八十彦さん、
・ 渡辺勝利さん (25名)
- [11.6] 五十嵐川クリーン作戦へ
・ 伊藤寛一さん、衛藤泰男さん、
・ 加賀美匡さん、木村文夫さん、
・ 中村信一さん、西山徳芳さん、
・ 野崎喜一郎さん、柳取崇之さん (8名)



会長挨拶

川瀬康裕 会長



みなさん今日は。今日は急に寒くなりましたね。風邪をひいたり、血圧が上がらないように体調に気をつけましょう。さきほどNYタイムズの速報でトランプが勝つ確率が80%とでました。CNNやNYタイムズをみていると昨日まではクリントンが80%でしたね。

いろいろな変化が世界で起きています。さて先週の土日、11月5、6日に長岡で開催された2016-2017年度のRI2560地区の地区大会に参加してきましたので報告いたします。詳細は後ほど話しますが、まずはとても良い天気にも恵まれた地区大会でした。会場はアオーレ長岡と隣接したグランドホテルでした。アオーレ長岡は隈さんの設計によるそうで、古い建物の木を生かした開かれた空間で同時開催の市民のイベントと違和感なく繋がり良い雰囲気でした。

初日のプログラム開始前に臨時のクラブ会長会が開かれ、先日のフォーラムでお話しした地区運営に関する3つの提案 ①地区事務所の分離 ②ガバナー選出輪番制 ③地区改善委員会の設置を一括審議し無記名投票の結果過半数の賛成を得て、この方向で進めることが承認され、これは後ほどの本会議でも報告されました。

続いて地区大会のプログラムが始まりました。地区大会の目的は①感銘深い講演を聞くこと、②地区内での奉仕プログ

ラムや広報の発表、③思い出に残る親睦といわれています。RI会長代理によるジョンジャームRI会長のお人柄がわかるビデオを初日にみせていただき、ガバナー補佐のメッセージ、地区委員長報告、セミナーと続き初日のプログラムを終えました。夜は曾我隆一RI会長代理の歓迎晩餐会がグランドホテルで開催されました。美しい二胡奏者の歌と演奏を楽しみながらおいしい料理とお酒のパーティーで会員相互の和やかな懇親の場となりました。

二日目はアオーレ長岡で本会議が開催されました。点鐘、会長挨拶に続き新潟県知事代理、長岡市長、商工会議所会頭の祝辞、RI会長代理によるRI会長メッセージと現況報告があり、続いて大会委員会報告（登録、資格審査、ガバナー指名、大会決議）、記念品贈呈と表彰、国際大会紹介のあと、昼食をはさみ、午後からはインターアクト、ロータリーアクト代表、ライラ研修生、青少年交換学生、米山、ロータリー財団の奨学生の発表がありました。続いてガバナーエレクト、ガバナーノミニーの挨拶、RI会長代理の講評で一区切り、その後慶応義塾大学の片山善博教授による「地方の再生と日本の将来」と題する市民公開の記念講演が行われました。その後は全員懇親会の「ロータリーの夕べ」が開催されアトラクションの尺八四重奏団の演奏や料理とお酒を楽しみました。

全体には田中ガバナーのお人柄を反映した穏やかな中に、芯のとった地区大会でした。2016年7月現在2097名会員中、大会登録者1021名でした。クラブからの参加は25名でした。ご協力ありがとうございました。

幹事報告

関川 博 幹事

◎地区青少年交換委員会より

「2017年度 夏期交換学生募集のお知らせ」

[交換先] ドイツ [募集人員] 4名

[資格] 派遣時、高校または大学在学中の者
(含：予備校生、専門学校生、19歳以下) 他

[申請書受付] 2016年12月31日迄に在学証明書
を添えて最寄りのロータリークラブ
経由で提出

[派遣期間] 2017年8月初旬出発、約3週間
ドイツでホームステイ

[受入期間] 2017年7月中旬より約3週間、
ホストクラブが受け入れる

◎五十嵐川を愛する会より

「五十嵐川クリーン作戦ご協力の御礼」

ニコニコBOX

川瀬康裕会長

地区大会報告させていただきます。ご多数のご参加ありがとうございました。

近藤雄介さん、金子俊郎さん

此の度、我々両家の結婚式に当クラブより祝電を頂戴しありがとうございました。二人が温かい家庭を築いてくれることを願っております。

関川 博さん

地区大会では川瀬会長がガバナーノミニーとして紹介されました。当クラブ、当地区の誉れであります。川瀬ガバナーノミニー、大役お疲れ様でした。

山田富義さん

子育て拠点施設「あそぼって」館長さんより、五十嵐博宣先生、船越良則先生に、再度読み聞かせの要請が来ています。

所用のため早退します。

斎藤弘文さん

地区大会に参加した皆様、とりわけ川瀬会長、関川幹事様から大変お世話になりました。

川瀬会長のノミニーとしての挨拶に感銘を受けました。さすがです。

小出子恵出さん

地区大会御苦勞様でした。川瀬ガバナーノミニーの初陣御見事でした。皆さんで協力しましょう。

加賀美匡さん

五十嵐川清掃に参加しました。ゴミが少なくあまり役に立たず申し訳なかったです。きれいな川はすばらしいです。

丸山行彦さん

60周年記念事業の参加宜しくお願ひします。

石橋育於さん

都合により早退させていただきます。

ボックスに協力。

小越憲泰さん

都合により早退します。

吉井直樹さん

地区大会、参加された方々には大変お世話になりました。

川瀬ガバナーノミニー、関川幹事、佐野委員長、宜しくお願ひします。

杉山幸英さん

寒くなりました。御身大切に。

BOXに協力致します。

渡辺勝利さん

関川幹事より地区大会の出席証写真を受けました。

樺山 仁さん

気温が下がります。急な変化です。体調に気を
けましょう。

小林吾郎さん

寒いです。

衛藤泰男さん

本日もよろしくお祈いします。

若槻八十彦さん

皆さん、風邪などひかぬように。

高橋 司さん、木村文夫さん

よいことがありました。

スマイルボックスに協力いたします。

五十嵐博宣さん、斎藤真澄さん、渋谷健一さん、

伊藤寛一さん、柳取崇之さん、歸山 肇さん、

船越良則さん、渡辺良一さん、明田川賢一さん、

松永一義さん

地区大会に参加された皆さんお疲れ様でした。

本日は報告よろしくお祈いします。

11月9日分 ￥ 52,000

今年度累計 ￥ 785,000

「五十嵐川クリーン作戦」

去る11月6日（日）午前7時から、五十嵐川を愛する会主催の「五十嵐川クリーン作戦」が開催されました。当クラブからは8名の会員よりご参加頂きました。ご協力ありがとうございました。



（出席者は週報メイクアップの欄に掲載しております。）

「地区大会報告」

川瀬 康裕 会長



『ガバナーノミニーとしての地区大会報告』

三条4クラブの会長、幹事でバスを仕立てて市役所からグランドホテルに向かいました。晴天にめぐまれ温かくウトウトしながら受付に着くなり、ガバナーノミニーはこちらと声がかかり、胸に白バラをつけていただき、エスコートされ専用の休憩室に案内されました。なにも予備知識がなく言われるままに行動しました。

なんとか予定していた4クラブの昼食会にもどり、その後は、会長会でした。引き続き初日のプログラムもノミニーとして仲間の席から離れ最前列に座らされ緊張しました。会のたびに入場セレモニーがあり、順番が決まっています、私はひたすら新保ガバナーエレクトの後について回りました。

RI会長代理は、2840地区PG 曾我隆一様で2001年の前までは新潟と一緒に地区であり、自分にとっては故郷に帰るようだとご挨拶いただきました。RI会長のジョンジャーム氏のビデオ見せていただきました。子供のころ、テネシー・チャタヌーガの郊外の池に父親が兄と釣りに出かけ、父親が急に歩けなくなり、医者にポリオだからもう治らないと宣言されたこと、父親が必ず歩いてみせると天井から吊った紐で毎日足をあげるリハビリを粘り強く続け歩けるようになった話を、涙ぐみながら語るビデオでした。RI会長のお人柄がうかがえました。ガバナー補佐のメッセージでは会員増強や、ガバナー補佐にぜひ立候補してほしいという話が多かったのですが、第4分区の森山ガバナー補佐の当クラブでのエピソード、関川幹事との出会いについての表現力溢れるスピーチは参加者を沸かせました。委員長報告はそれぞれ開催したセミナー報告でした。

地区大会での会員のRI勉強のためのセミナー講師は2800地区PGの池田徳博様でした。「ロータリー財団100周年を迎えて」と題してご講話をいただきました。100年前アトランタの会合でアーチクラブ会長の提案で「世界でよいことをしよう」と基金が創設され最初に振り込まれたのは26ドルでした。その後100年間で30億ドル相当が世界の平和、疾病予防、水と衛生環境改善などに使われてきました。さらにロータリー哲学として利益は善か悪か、ロータリーは奉仕もするが本質は人格完成などのお話のあと、財団の決算書の説明と100周年をむかえて寄付依頼や、人頭金増額の根拠などについてお話しいただきました。

二日目の本会議では再び曾我隆一RI会長代理の講演としてRI会長メッセージと現況報告がありました。今年の規定審議会では時代にあわせるために大きな変革があった。一つは会員の身分がシンプルになり経営者・役員などの条件がなくなり善良高潔、リーダーシップが明確になった。ロータリアンの中核価値観の中でもintegrity高潔性を強調する方向性がしめされた。例会の回数に柔軟性をもたせたり、入会金をとらないなどの変更もあったがこれは細則に記載すれば変えてもよいということで、変えない選択もあるという説明がありました。

記念講演は片山善博氏により「地方の再生と日本の将来」と題して行われました。出生率の低下により、2040年には日本の半分の自治体が消滅都市になる。原因は地方に若者が残る魅力がない、地方の企業の下請け構造や公共事業をやっても地方に残る金はずか。県を独立採算でみると恒常的な赤字構造、いまの地方創生のプレミアム商品券などは単なるばらまきで解決にならないことを必要のない地方まで一律に実施するのみ、などの持論を語り、環日本海の要の新潟で安倍さんとプーチンの会合は開かれるべき、TPPは12か国のフリーゾーンを盾にされると地方優遇政策がとりにくく一層苦しくなる恐れもあり、アメリカも反対する自治体が多いなども訴えられました。

今回の地区大会では間近に今まで雲の上のPastorガバナーと過ごさせていただきました。皆様に通ずるのは声大きい、情報通である、視野が広いと感じました。田中ガバナーも午前のセミナーの謝辞で「お金を払えば人格が磨かれたとロータリーが承認する話」と一言あったり、記念講演では「新潟は地政学的優位を生かすべき、ロータリーは市民とともに良い街を作りたい」と市民に向かって話すなど穏やかで言葉少ない中にピリッとした端的な表現が心に残りました。この会でガバナーノミニニーとしてデビューする場を与えられ、身の引きしめる思いでした。三条クラブの名誉のために、皆様と力をあわせて働くことを誓います。何卒よろしくご支援、ご指導お願い申し上げます。

関川 博 幹事



今回の地区大会は、当地区において特別な意味を持つ開催であったと思います。ここ数年、地区大会でガバナーノミニニーの紹介はありませんでした。選任に苦難を極め12月に決定することが山崎年度以降問題となっておりました。川瀬会長の英断により当地区は久々に地区大会でガバ

ナーノミニニーの紹介が果たせたことは、歴代Pastorガバナーで組織される「指名委員会」もその重責を果たせた瞬間であり、当クラブとしても誇り高く、最高の誉れを飾れたと思います。

川瀬会長の英断と、三条ロータリークラブ・ガバナーノミニニー選任委員会の迅速な行動がなければ当地区大会に間に合わず、雰囲気も変わっていたと思います。私が申し上げることも僭越ですが、本当にありがとうございます。

さて、「地区運営検討委員会」により議論を重ね、当クラブにおいても11月2日のクラブフォーラムで協議テーマとした 1) 地区事務所の固定化 2) ガバナー選出の分区輪番制 3) 地区運営検討会の常態化 ですが、当地区大会開催に先立ち、「会長会」にて賛成多数で決議されたことを本会議にて鈴木Pastorガバナーが報告されました。もし、当地区大会までにガバナーノミニニーが選出されていなかったら、本会議でもこの部分が大きく取り上げられていたことと想像します。そんな中での1日目のスタートとなりました。

曾我隆一国際ロータリー会長代理挨拶では、改めてジョン・F・ジャーム国際ロータリー会長の紹介を丁寧に語られました。RI会長自ら出演されたビデオでは、涙ながら実の父がポリオにかかったお話を語られるなど貴重な講話を拝聴できました。記念公演の池田徳博様は佐々木Pastorガバナーと同期ガバナーとのことで「ロータリー財団100周年を迎えて」とのテーマで、ロータリー財団の現況をわかりやすく説明していただきました。ロータリー精神の基本である職業奉仕を一生懸命に行うと利益が生まれる、利益自身は悪いことではありませんが、それをどのように使うのか。職業奉仕を務め社会奉仕につなげる。この二つの奉仕活動が両輪となり回転しなくてはならない。しかし、現在は年間600万ドルの赤字であるため一人当たりの人頭割が4ドル増えた。ポリオ撲滅まで手が届くところまで来ている現在活動は停止できない。他にもグローバル補助金や地区補助金のお話も少し触れましたが、時間の制約がありまた機会があればお話を伺えるということで結ばれました。

二日目の本会議では、改めて曾我隆一RI会長代理がRI現況の現況を報告されました。なぜ国際ロータリー一定款の大幅変更は、 1) ロータリー先進国における会員の減少や高齢化。 2) 会員資格、職業分類など柔軟性を取り入れた15年間の試験的プログラムを採用した多くのクラブが活性化して成長を遂げている。 3) 変更を加えないクラブは従来とおり続けることができる。この報告で、今後当クラブ定款及び細則の改定も方向が見えたことは今回参加し

て大きな収穫となりました。また、ロータリー活動は「人道的奉仕活動団体」というイメージでしたが、それは他の奉仕団体とあまり違いはないので、今後は「事業・専門職業・地域のリーダー」を育てる活動に重きをおくとされました。

最近のRI理事会のKEY WORDSは 1) START (とにかく挑戦してみる) 2) KEEP (辛抱強く続けてみる) 3) STOP (立ち止まって反省も大事) とのことです。企業経営者としては少し違和感のあるキーワードという感想を持ちました。最近は次のようなキーワードを手法に組み込む企業が多いようです。1) SELECT (自らを知り、責任ある選択) 2) SPEED (早く手をつけ、早く完了) 3) INSPECTION (客観的に検証し報告) 4) CONCENTRATION (狙いを定めて、集中的に行動)

本会議で、特に印象的なことはやはり、川瀬ガバナーノミニの誕生です。地区もその誕生を待ちわびていたことが遠目でも伝わってきました。パストガバナーテーブルは祝福、歓迎ムード一色で晩餐会、レセプションで川瀬ガバナーノミニが席につく姿はあまり見受けられないほど。ガバナーノミニ挨拶では、職業観を語られる中「我慢強さ、連携するためのコミュニケーション、丁寧な説明」などはまさにロータリー活動に必要な条件であるなど職業奉仕の理念を重んじたスピーチは素晴らしいものでした。また、地区三役の紹介を賜り、身の引き締まる思いで拝聴いたしました。

その後のレセプションでは、市内の他3クラブ会長幹事や近隣クラブ各位より励ましの言葉をいただいたこと、何より嬉しい一言が「オール第四分区でしっかりサポートする」というものでした。この一体感、友情はロータリアンでなくては決して味わうことはないと思うと改めてロータリークラブの素晴らしさに感動しました。

今後、経験不足は先輩方にご指導いただき、腕力は若手会員に補助していただき、川瀬ガバナーノミニを全力で支えていくことを誓いました。最後に、地区大会の成功を田中ガバナーにお祝い申し上げます。

小出 子恵出 会長エレクト



街路樹のイチョウが黄色くなり、今日はあられが降りました。あの暑い夏は何処へいったのでしょうか。

川瀬ガバナーノミニが素晴らしい初陣を飾られた地区大会。とにかく長い11月6日でした。地区大会の午後の部の本会議が予定より20分ほど早く終了しました。

次のプログラム、元鳥取県知事で慶応大学法学部の片山善博教授の記念講演は、一般市民の聴講が出来る趣向でしたので、元々35分間のインターバルが入っていました。「1時間も待つのですか」と不機嫌な声が聞こえる。ところが講師の到着が遅れて更に15分伸びるとの放送です。

講師の片山教授は、「新幹線を長岡で降りるところ乗り越して燕三条まで行ってきた、遅れてごめんなさい」のお詫びもなく、先生が生徒に教えるが如く淡々と講演をされました。

聴講者は市民を加えて1,000人@15分=15,000分間=250時間、1日の作業時間、8時間で除すると31人になります。

講演の内容は、「地方の再生と日本の将来」がテーマで「人口減少時代に地方を活性化するには自治体はどうあるべきか」であったと思っています。「地方創生」が言われるようになった背景として、地方の人口減少から日本創生会議が発表した2040年まで成立しない消滅可能性都市、若い女性(20~39歳)の人口が半分以下になる市町村が896自治体になる。

みなさんは買わなかったと思いますが、1万円の商品券を買うと税金で20%補填して1.2万円の商品を買える、プレミアム商品券などのバラ撒き政策を批判。

自治体の経営も数値化してバランスシートを作り、収益を上げるようにしなければならないと唱えた。無駄な金の使い方・効率の悪い事業に公共事業を挙げていました。

この手の話は聞いても悪くはないのですが、ロータリアンのほとんどは経営者です。首長、議会議員や公務員向けの内容だったと思います。地方に来て話をするのですから地方の固有名詞が入る話を聞きたかったものです。

バランスシートのお話をされた方ならば250時間31人分の手間代を返還して帰られたでしょう。

長い会議だったのでみなさんは腹を空かし、懇親会を楽しみにしていました。男が満足するひとつに、食事があります。食は人生の楽しみなのです。雰囲気あるアオーレ長岡は立派な建物です。食事をするための空間を大事にし、胃袋だけじゃなく気持ちも満腹をめざしていました。しかし、がっかり期待外れでした。

参加登録のことですが、当クラブ32名登録で7名が欠席されています。参加登録料は、一人当たり15,000円とのことですが、7名で10万円超です。誠にもったいないことだと話題になりました。やむを得ない場合は仕方ないことですが、工夫が必要だと思いました。

性格がマイナーなもので、小言を並べる報告になってしまいました。

地区ローターアクト委員長 吉井 直樹 会員



地区大会に参加して来ました。今年は地区委員としての立場で参加でした。

二年後には三条でこの大会を運営するのだと思い身の引き締まる思いでした。また、川瀬ガバナーノミネー選出という晴れの舞台を

誇らしく感じて来ました。

全体の報告はすでに会長、幹事、次年度小出会長より有りましたので、私はピンポイントで報告します。ローターアクト代表 川越君の報告は大変立派なものでした。アクトのメンバーになってまだ数年ですが、あれだけの発表ができることはいかにアクト活動を通じて成長できた証だと思います。ぜひ、皆様からもアクトへ勉強させるメンバーを推薦頂けますようお願いいたします。

二日間で、ノミネー選出に関して、各地のロータリアンより応援の言葉を頂いた事が心強く、また、ありがたく感じて来ました。



次週例会 11月23日 休会(勤労感謝の日)

次々週例会 11月30日 「ロータリー財団月間」
ロータリー財団委員長 成田秀雄 会員

